

■適正化検討委員会で方向性を確認した事項

▶町立小学校のあるべき姿

- (1)子どもが主役の学校
- (2)安心・安全な学校
- (3)地域・家庭とともにある学校

▶1学級あたりの児童数

1学級あたり「21人～25人」
一定規模の集団での学びや遊びが実施できる規模

▶1学年あたりの学級数

1学年あたり「2～3学級」
クラス替えが実施でき、学校行事等も充実させることが可能

▶再配置の必要性

- 1学年あたり「2～3学級」の規模を維持することが難しく、状況は今後さらに進んでいくと見込まれる
- アンケート調査では、7割以上の方が、**小学校の再配置(統合等)に肯定的な意見**
- 児童にとって望ましいと考えられる学校環境を維持するためには、再配置を実施することで適正規模に近づけることが必要

【学級数による学校規模の分類】

過少規模校	1～5学級
小規模校	6～11学級
適正規模校	12～18学級
大規模校	19～30学級
過大規模校	31学級以上

【令和7年度の現状】

小規模校	矢吹小学校	8学級（178名）
	中畑小学校	6学級（144名）
	三神小学校	6学級（96名）
適正規模校	善郷小学校	15学級（418名）